

## 参加者ご略歴 & メッセージ



内堀 雅雄 (うちぼり まさお)

一人一人が互いに認め合い、つながりを広げ、助け合っていくことができる地域社会を共に創り上げていきましょう。

福島県知事

1986年に自治省に入省。

2006年に福島県副知事を経て、

2014年より福島県知事(現在2期目)。



赤池 孝行 (あかいけ たかゆき)

被災者・避難者支援活動において「孤独・孤立防止」の課題は重要性を増してきている。復興公営住宅住民の孤立と団地全体が周辺地域から孤立することのないよう、関係機関と連携して支援体制を築いていく。

特定非営利活動法人 みんなぷく

(旧名称：3.11被災者を支援するいわき連絡協議会)

法人理事・福島県生活拠点コミュニティ形成事業総括震災時、消防団員・町内会役員として避難所開設運営を指揮。仮設住宅の自治会立ち上げを支援した経験から被災者・避難者支援の団体を立ち上げた。



磐城 美樹 (いわき みき)

あなたのことを気にかけてくれている人が必ずいます。思いを声に出してください。私たちは真剣に聴きます。

社会福祉法人檜葉町社会福祉協議会

檜葉町地域包括支援センター センター長

保健師として行政職を経て、福祉分野で活動しています。地域包括ケアシステムの構築に力を注いでいます。



## 後藤 美津子 (ごとう みつこ)

困ったとき、苦しいときはどうか私たちを思いだして。  
どこからでもいいから、どんな方法でもいいから、連絡を  
まってるよ。

NPO 法人ウィメンズスペースふくしま代表理事  
東日本大震災時の翌年、平成 24(2012)年 8 月より団体の  
活動に加わり、令和元(2019)年 7 月に代表理事に  
着任。資格:2 級キャリア・コンサルタント技能士。



## 山下 仁子 (やました じんこ)

「大人になるのも楽しそう。」  
そんな風に子どもの目に映る大人であり続けたい。  
1 人でも多くの子どもの命が明日へつながることを  
願って。

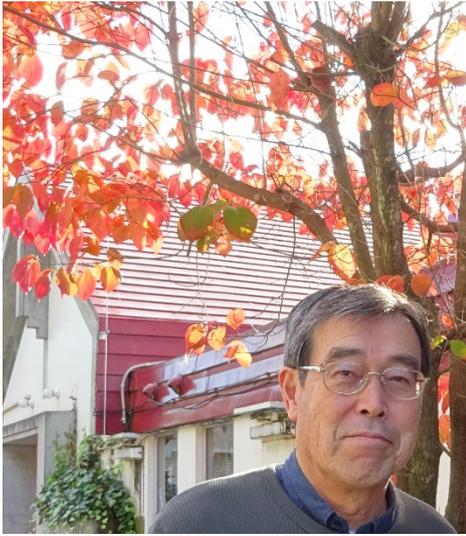
NPO 法人ビーンズふくしまアウトリーチ事業長  
子どもソーシャルワーカーのパイオニアとして支援手法を  
確立しノウハウ本を作成。全国に発信・波及し続けている。  
他、子どもの権利を考える会「しらかわ子どもネット」を設立。



## 米倉 一磨 (よねくら かずま)

被災地の心のケアは平素の孤立の問題でもある。  
一人でも多くの人々へ伝えていくことが私たちの使命  
です。

認定 NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムを  
つくる会 相馬広域こころのケアセンターなごみセンター長  
原発事故で勤めていた精神科病院が被災し休診となり、福島  
医科大心のケアチームのボランティアとして参加。その後、心  
のケアの同活動を保健福祉事務所の職員、現職まで形を変え  
10 年間継続して行っている。精神科認定看護師。



## 渡邊 中 (わたなべ かなめ)

「支える」「支えられる」は「お互いさま」  
一人一人に寄り添える、住民相互が支え合う「偏見」  
「差別」がない紡ぐ地域を目ざしましょう。

社会福祉法人牧人会あだたら育成園 園長  
(社会福祉士、主任相談支援専門員)  
福島県自立支援協議会生活支援部会長  
一般社団法人 福島県相談支援専門員協会代表理事